

安全表示で

人づくり

ビーポップを活用した安全活動事例

第11回

三菱マテリアル電子化成株式会社

会社概要

●本社 所在地：秋田県秋田市 ●設立：1991年 ●従業員数：約300人
(2021年現在) ●主な事業内容：機能性フッ素化成品の製造、導電性粉末および機能性薄膜材料の製造、高純度半導体関連材料の製造、フッ素リサイクル、建設・電設事業

安全表示統一活動を通じて 相互啓発型の安全文化を定着させる

秋田県秋田市に本社のある三菱マテリアル電子化成(株)は、社名の「マテリアル」が示すとおり、暮らしに不可欠な基礎素材から、先端産業を支える高い機能を持つた新素材までを製造しています。最近では、ますます重要性の高まるシリコン半導体製造プロセスやハイブリッドカーなど最先端テクノロジーへも素材を供給。中でも自動車窓ガラスに使用する熱線カット塗料は、車内の過熱を防ぎ、省エネにも効果のある素材として注目が集まっています。

そんな同社では2018年から「安全文化醸成プロジェクト」を実施、相互啓発型の安全文化醸成活動の一環である「関係者にやさしい工場」を目指し、安全表示の統一化に取り組んでいます。その結果、2019年には工場内の配管に関する安全表示の統一が実現しました。この活動はビーポップによる安全表示として2020年の「第3回安全表示・人づくりコンテスト」で見事優秀賞を受賞しました。そこで、実際に安全表示を作成されている環境安全部の青木さんと副部長の川上さんに、同社における安全文化への取り組み、安全表示統一の意義などについてお話を伺いました。

作成依頼書による安全表示 作成の一元管理を実現

同社では安全文化醸成プロジェクトの発足以来、相互啓発型の安全文化醸成を目指してきました。相互啓発型の安全文化とは、一人も欠けることなく自立的に安全活動を実践し、意識レベルを高めるとともに、互いに注意、確認し合うこ

とができる風土です。環境安全部ではそのために安全表示の統一が重要だと考えましたが、ネックとなっていたのは「既製品では対応が不可能」だったことでした。「そこで、ビーポップを導入し、多様な表示を作成するようにしました。それから、妥協せずにオリジナルの表示が作れるようになったのです」と青木さんは振り返ります。それまで各部署でばらばらに既製品を購入していたのを、ビーポップによる表示の一括支給により社内での表示の統一化に貢献しています。また、メールや口頭での依頼を「安全表示作成依頼書」の提出へと統一しました。さらに各部署の依頼には現場や作業に合わせた表示内容に変更して対応できるようになりコストも大きく削減しました。

環境安全部ではこの依頼書に従い、表示の目的や掲示場所、サイズなどを現場に確認しながら表示を作成し、実際に掲載された現場の状況も必ず確認するそうです。「表示の内容を現場と一緒に考えたり、掲示状況を一緒に確認したり、表示作成を通じて職場のコミュニケーションが深まり、安全文化の醸成に役立っていると思います」と青木さん。コンテストについても「受賞したいとは思いますが、それが目的ではありません。あくまで「労働災害ゼロ」を最大の目標に、今後も安全表示による人づくりに積極的に携わっていきなすね」と意気込みを語ります。

安全表示について議論を深める ことで社員の心がひとつに

安全表示の統一化については、今回受



2019年の応募作、緊急飛込プール表示。ISOのピクトグラムになかったため、オリジナルを作成した。誰にでも分かりやすいと好評だ。

賞した配管だけで、8ヶ月かかったといいますが、この時間は無駄ではなかったと川上さんは考えています。

「各部署のさまざまな意見を聞きながらじっくりと統一化を進めてきました、そうすることで、各部署の安全に対する考えを知ることができました。今ではみんなの思いがまとまってきたと実感します。配管以外にも工場名等、統一すべき表示がありますので、これからも部署間のコミュニケーションを大切にしたいと思っています」と川上さんは今後を展望しています。

今後も、安全表示の統一化は、同社が掲げる「相互啓発による安全文化」実現のために重要なアプローチであり続けることでしょう。



三菱マテリアル電子化成(株)環境安全部のみなさん

※撮影のために十分な感染症対策を行った上で一時的にマスクを外していただきました



受賞作

Before

工場内に通っている配管には危険な物質も流れていたが、安全表示の文字・ラベルの色が統一されておらず、部外者にはわかりにくかった。

After

JISに従った表示にするだけでなく、酸とアルカリ、ガスの種類ごとに文字の色を変え、識別しやすいように表示を統一した。



お問い合わせ

マックス株式会社

オフィスプロダクツ営業部

安全表示・人づくりコンテスト事務局

人づくりコンテスト

検索

TEL:03-3669-8108(代) Mail:anzen@max-ltd.co.jp